








令和5年度	委託設計書	課長	担当課長	係長	設計者
令和5年4月17日設計					建築 電気 機械
設計課	営繕課				   
主管課	学校管理担当				
1 委託名称	明石市立松が丘小学校ほか2校エレベーター棟設置工事实施設計業務委託				
2 委託業務内容	調査	・敷地調査 ◎建物その他調査 ◎土質調査			
	実施設計	◎建築 (◎意匠 ◎構造) ◎電気設備 ◎機械設備			
	積算	◎建築 (◎意匠 ◎構造) ◎電気設備 ◎機械設備			
	申請手続	◎計画通知 (関係官庁及び関係部署における法令・条例等による手続を含む) ◎建基法第56条の2第1項ただし書の規定による許可 (日影の許可) の申請 (王子小学校) ◎構造計算適合性判定 ◎明石市公的開発指導要綱			
	その他	◎外壁仕上材及び内装材のアスベスト含有調査			
※委託該当項目は、◎印の入ったものを適用する。					
3 委託期限	契約の翌日より、令和6年1月24日までとする。				
4 支払条件	委託業務完了後、一括支払い。				
5 委託概要	<p>本委託は、明石市立松が丘小学校、明石市立王子小学校及び明石市立二見小学校にエレベーター棟を増築する工事の設計である。</p> <p>建設場所については別図の位置を基本とするが、計画にあたり、既設校舎棟との接続部分及び既設地下埋設物等への影響を考慮の上、実施設計を行うこと。</p> <p>尚、参考としてエレベーター棟の規模及びエレベーターの性能を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・S造 4F建 延床面積：50㎡程度 ・乗用機械室レス エレベーター <p>定員：13人乗 (乗用・車いす仕様)、速度：60m/min、停止階床：1～4階</p> <p>(1) ・施設名称 明石市立松が丘小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 明石市松が丘3-1-1 ・対象建物 教室棟①-3 (昭和44年築・耐震補強済) ・アスベスト調査 外壁・柱・軒裏・床シート・天井ボード・配管保温材の計6箇所 				

(2)・施設名称 明石市立王子小学校

・所在地 明石市王子1-1-1

・対象建物 管理・特別教室棟㉓(昭和57年築・耐震補強済)

・アスベスト調査 外壁・柱・軒裏・床シート・天井ボード・配管保温材の計6箇所

(3)・施設名称 明石市立二見小学校

・所在地 明石市二見町東二見454

・対象建物 普通教室棟㉗-1(昭和56年築・耐震補強済)

・アスベスト調査 外壁・柱・軒裏・床シート・天井ボード・配管保温材の計6箇所

6 特記事項

(1) 設計業務の成果物については、社内審査を十分行い、委託期限の10日前までには営繕課の担当者による事前確認を受けた上で、所定の委託期限までにすべてを提出すること。

※ 担当者による事前確認とは、本市積算システム(RIBCⅡ)により作成される内訳書が設計図及び数量積算等と整合され、算出された工事費が概算工事費(予算)内であることが確認されている状態を指す。

(2) 打合せ議事録(電話の内容等も含む)と月間工程表の各当月分を翌月一週間以内に担当者へ持参し進捗状況を説明すること。原則、郵送は認めない。

(3) 工事進入経路、杭工法等については、選定根拠となる比較検討書(比較表)を作成すること。

(4) 建築基準法第18条第2項の規定による計画通知(構造計算適合判定を含む)の手続きは、原則、委託期限内に同条第3項の確認済証の交付が得られるよう業務を行うこと。

(5) 本設計委託における構造計算適合性判定手数料については委託金額に含む。

(6) 概算工事費を令和5年9月15日までに算出し、提出すること。

(7) 既設校舎棟外壁等のアスベスト調査の結果を踏まえ、適切なアスベスト除去工法を比較検討(比較表作成)の上、選定、設計すること。

(8) 最低制限価格の算出について、その他業務(構造計算適合性判定手数料・

土質調査・アスベスト調査)の費用(経費を含む。)は、直接人件費に含む。

また、諸経費及び技術料等経費を算出する際の直接人件費には含まない。

(9) 本市が所有する既存図面データ(JWW)は利用可能とする。

委託内訳書		課長	担当課長	係長	担当
設計年度	令和5年度	藤	藤	木	建築 電気 機械
令和5年4月17日 設計					北谷
委託名称	明石市立松が丘小学校ほか2校エレベーター棟設置工事 実施設計業務委託				
委託料(総額)		業務価格			
名称	数量	単位	単価	金額	
松が丘小学校	1.0	式			
王子小学校	1.0	式			
二見小学校	1.0	式			
合計(業務価格)					
消費税相当額		10	%		
総額(委託料)					

委託内訳書		課長	担当課長	係長	設計者
設計年度	令和5年度				建築 電気 機械
令和5年4月17日 設計					
委託名称	明石市立松が丘小学校ほか2校エレベーター棟設置工事 実施設計業務委託				
委託料(総額)				業務価格	
名称	数量	単位	単価	金額	
二見小学校					
一般業務直接人件費	23.7	人			
追加業務直接人件費	12.2	人			
(積算業務、各種申請手続業務、 現地詳細調査業務)					
小計					
諸経費	1.0	式			
技術料等経費	1.0	式			
小計					
構造計算適合性判定手数料	1.0	式			
土質調査 (標準貫入試験(20m、1箇所) サンプリング、報告書共)	1.0	式			
アスベスト調査 計6箇所	1.0	式			
(試料採取、サンプリング、報告書共)					
(柱型・腰壁・上裏・天井ボード・床シート 5箇所 1箇所につき定性・定量分析) (配管用保温材 1箇所 定性分析のみ)					
小計					
計					

実 施 設 計 委 託 仕 様 書

共 通 事 項
建 築 設 計
設 備 設 計

目 次

- A. 共 通 事 項
- B. 一 般 營 繕 用 設 計 基 準 図 書
- C. 公 共 住 宅 用 設 計 基 準 図 書
- D. 提 出 図 書 及 び 部 数

A. 共 通 事 項	
1. 図 面 サ イ ズ	▶A 1 又は A 2
2. 作 図 方 法	▶CAD
3. 積 算 シ ス テ ム	▶内訳作成は、「営繕積算システムRIBC2」によるものとする。 作成に必要な費用は、本委託に含むものとする。
4. 照 査	▶作成図面は、担当職員による確認が終了した時点で、担当職員立会いのもと現地照合を行い、不整合が判明した内容については修正を行うこと。 ▶積算図面、積算数量、内訳明細書については、相互間の整合確認を行い、マーカー等にてチェックされたものを成果物として提出のこと。
5. 協 議	▶業務遂行に当たっては、関係官庁等と十分に協議し、担当者に毎回報告の上、協議及び指示の下に内容を充分実施設計に反映させること。
6. 現 場 調 査	▶敷地及び建物等の現場調査を行う場合は、必ず事前に営繕課担当者まで連絡し、原則、立会いのもと現場調査を行うこと。 ▶架空配線はもとより、特に地下埋設物や配管などは、事前に既存図面を確認の上、現地調査に臨むこと（工事時作業エリアや動線等も考慮のこと）。 ▶調査後速やかに、調査図・写真・所見等を取りまとめた現場調査報告書を提出すること。
7. 打 合 せ 記 録	▶打合せ及び協議等を行った時は、必ず打合せ記録を作成し、業務完了時に製本の上、提出のこと（関係諸官庁との協議も含む）。
8. 関 係 法 規 の チ ェ ッ ク	▶本設計に関係する法規は、関連事項を必ずチェックし、表にまとめ提出のこと。
9. 資 料 の 貸 借	▶本設計に関する資料で、本市にて所有する資料は貸借する。但し、借用書を必ず提出のこと。
10. 提 出 書 類 代 行	▶消防法、建築基準法、都市計画法、県市条例・規則・要綱等に基づく協議及び書類の作成・提出・受領は、本委託に含むものとする。
11. 書 類 提 出 費 用	▶上記の協議、書類提出等に要する費用は、本委託に含むものとする。
12. 第 2 原 図 の 使 用	▶解体工事部分以外の設計図には、原則として第二原図の使用は認めない。
13. 設 計 資 料 の 整 理	▶設計完了後、速やかに営繕課担当者の指示に従い市販A4ハードファイルに設計資料等を整理・ファイリングし、提出のこと。
14. 材 料 等 の 表 現	▶原則として、特定のメーカー及び商品名は記載してはならない。
15. そ の 他	▶設計従事者は、設計内容や資料等について、他人に漏らしてはならない。 ▶当該著作物（成果物）は、引渡時に発注者に無償で譲渡するものとする。 ▶設計完了後であっても、設計の不備・不整合や、杭施工時における杭芯ずれに伴う設計の変更が生じた時などは、原則、無償で設計図書や構造計算等の作成を行い、資料提供するものとする。 ▶さらに、物件の規模や難易度により、設計思想の伝達及び情報共有の必要があると認め、発注者（工事監理者）・設計者・工事受注者による三者会議を実施する場合は、原則、無償で要請に応じること。

B. 一般営繕用基準図書一覧

1. 設計基準図書 (各図書は最新版とすること。)

1) 共通図書

- ①建築基準法
- ②消防法
- ③兵庫県「福祉のまちづくり条例」
- ④その他関係法令等

2) 建築設計図書

- ①公共建築協会 「建築工事設計図書作成基準及び参考資料」 [H. 29]
- ②公共建築協会 「建築設計基準及び同解説」 [H. 18]
- ③公共建築協会 「構内舗装・排水設計基準及び参考資料」 [H. 31]
- ④公共建築協会 「建築工事標準詳細図」 [R. 04]
- ⑤公共建築協会 「公共建築工事標準仕様書」 [R. 04]
- ⑥公共建築協会 「建築工事監理指針」 [R. 04]
- ⑦公共建築協会 「建築構造設計基準及び参考資料」 [R. 03]
- ⑧日本建築学会 「各種構造計算規準・同解説」
- ⑨公共建築協会 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」 [R. 03]
- ⑩建築保全センター 「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説」 [H. 08]
- ⑪建築保全センター 「公共建築改修工事標準仕様書」 [R. 04]
- ⑫建築保全センター 「建築改修工事監理指針」 [R. 04]
- ⑬公共建築協会 「敷地調査共通仕様書及び参考資料」 [R. 05]
- ⑭公共建築協会 「建築物解体工事共通仕様書・同解説」 [R. 05]
- ⑮日本建築防災協会 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」 [2017]

3) 設備設計図書

- ①公共建築協会 「建築設備計画基準」 [R. 03]
- ②公共建築協会 「建築設備設計基準」 [R. 03]
- ③公共建築協会 「建築設備設計計算書作成の手引」 [R. 03]
- ④公共建築協会 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」 [R. 04]
- ⑤公共建築協会 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」 [R. 04]
- ⑥公共建築協会 「電気設備工事監理指針」 [R. 04]
- ⑦建築保全センター 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」 [R. 04]
- ⑧公共建築協会 「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」 [R. 04]
- ⑨公共建築協会 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」 [R. 04]
- ⑩公共建築協会 「機械設備工事監理指針」 [R. 04]
- ⑪建築保全センター 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」 [R. 04]

2. 積算基準図書

- ①建築コスト管理システム研究所 「建築数量積算基準・同解説」 [H. 29]
- ②建築コスト管理システム研究所 「公共建築工事積算基準」 [R. 03]
- ③建築コスト管理システム研究所 「公共建築工事積算基準の解説」 [H. 31]

C. 公共住宅用基準図書一覧

1. 設計基準図書 (各図書は最新版とすること。)

1) 共通図書

- ① 建築基準法
- ② 消防法
- ③ 兵庫県「福祉のまちづくり条例」
- ④ その他関係法令等

2) 建築設計図書

- ① 公共建築協会 「建築工事設計図書作成基準及び参考資料」 [H. 29]
- ② 公共建築協会 「建築設計基準及び同解説」 [H. 18]
- ③ 公共建築協会 「構内舗装・排水設計基準及び参考資料」 [H. 31]
- ④ 公共建築協会 「建築工事標準詳細図」 [R. 04]
- ⑤ 公共建築協会 「建築構造設計基準及び参考資料」 [R. 03]
- ⑥ 日本建築学会 「各種構造計算規準・同解説」
- ⑦ 公共建築協会 「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」 [R. 03]
- ⑧ 建築保全センター 「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説」 [H. 08]
- ⑨ 公共住宅事連協 「公共住宅建設工事共通仕様書」 [R. 元]
- ⑩ 公共住宅事連協 「公共住宅標準詳細設計図集 第4版」
- ⑪ 公共建築協会 「敷地調査共通仕様書及び参考資料」 [R. 05]
- ⑫ 公共建築協会 「建築物解体工事共通仕様書・同解説」 [R. 05]
- ⑬ 日本建築防災協会 「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」 [2017]

3) 設備設計図書

- ① 公共建築協会 「建築設備計画基準」 [R. 03]
- ② 公共建築協会 「建築設備設計基準」 [R. 03]
- ③ 公共建築協会 「建築設備設計計算書作成の手引」 [R. 03]
- ④ 公共建築協会 「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」 [R. 04]
- ⑤ 公共建築協会 「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)」 [R. 04]

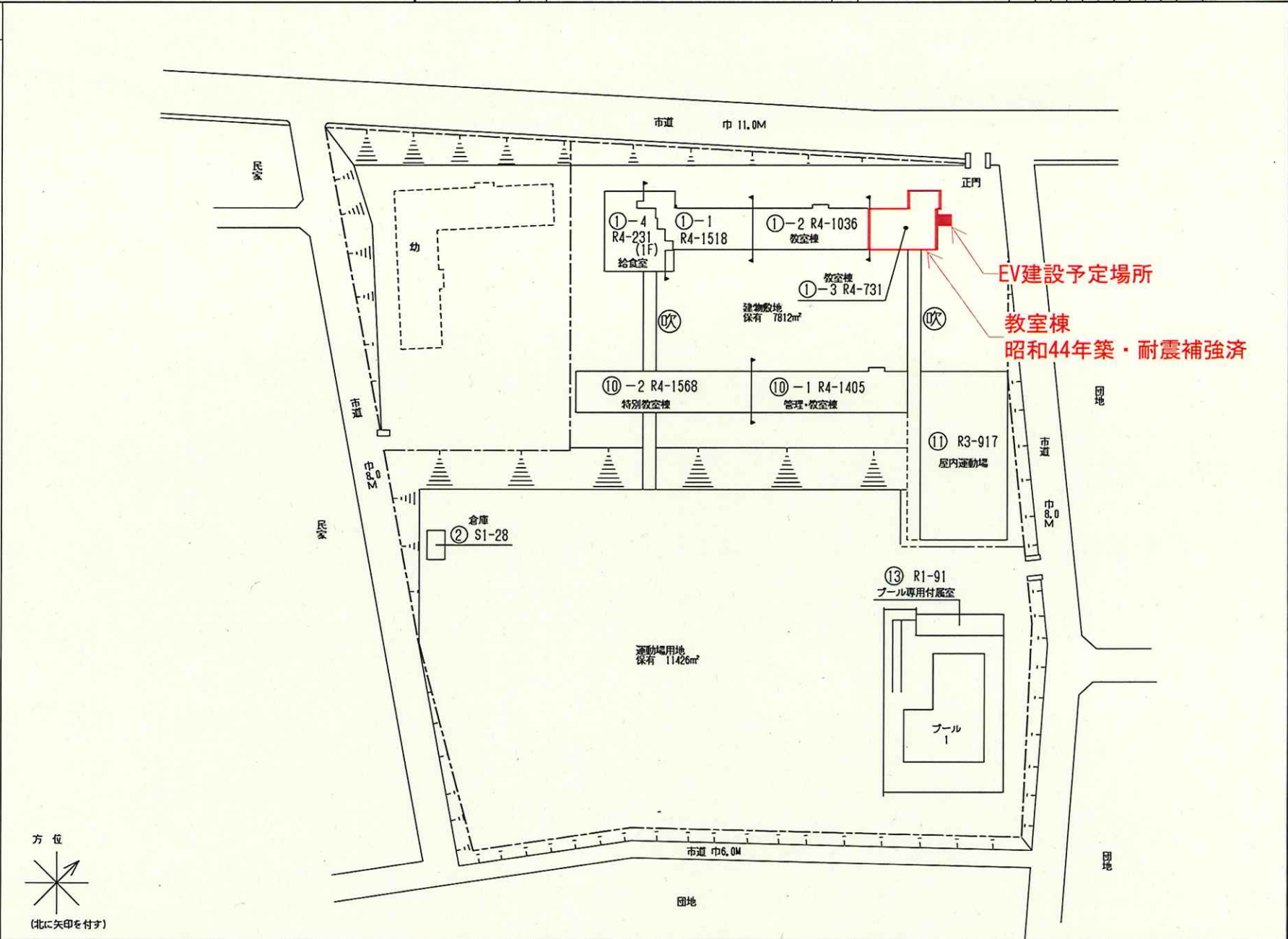
2. 積算基準図書

- ① 公共住宅事連協 「公共住宅建築工事積算基準」 [R. 元]
- ② 公共住宅事連協 「公共住宅電気設備工事積算基準」 [R. 元]
- ③ 公共住宅事連協 「公共住宅機械設備工事積算基準」 [R. 元]

D. 提出図書及び部数（部数は標準とし、委託内容により増減する）

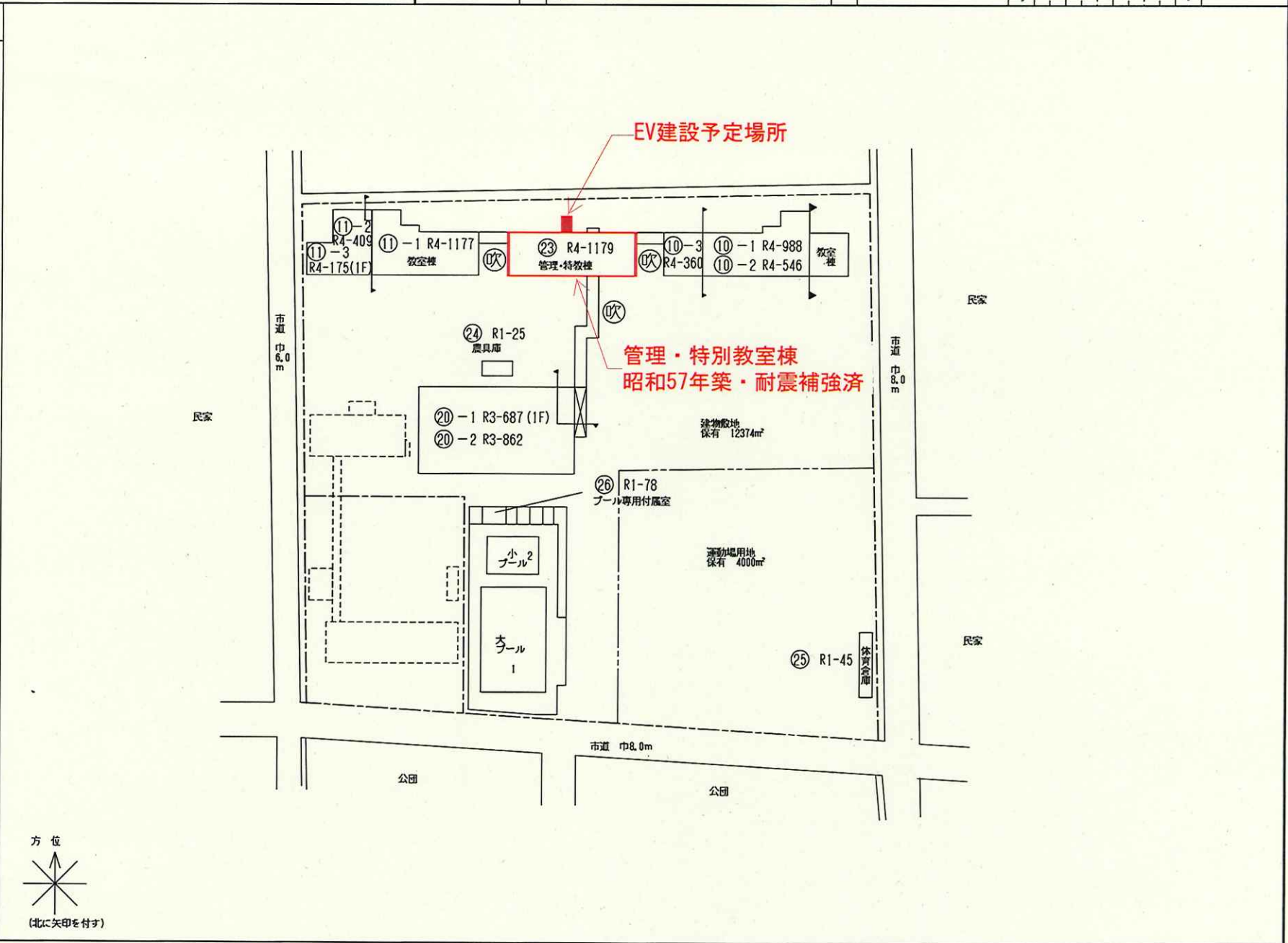
項目	書類名称	提出部数
1. 設計図	① 設計原図 （白焼き・押印） ② CADデータ （JWWデータ、左記以外はDXF）	1式（A1又はA2） 1式（CDROM）
2. 計算書	① 各種計算書	1式（A4）
3. 積算	① 積算計算書及び集計表 ② 積算図面 ③ 3社見積書及び見積比較表	1式（A4） 1式（A1又はA2） 1式（A4）
4. 内訳書及び代価表	① 内訳明細書 ② 代価表 ③ 内訳明細書データ	1式（A4） 1式（A4） 1式（CDROM）
5. 決裁及び入札用図書	① 決裁用設計図 （設計原図をA3で白焼したもの） ② 入札用設計図スキャンデータ （設計原図をPDFデータ化したもの）	1部（A4ファイル） 1式（CDROM）
6. 監理用図書	① 二つ折り製本 ② 縮小二つ折り製本 （製本の合冊・分冊は協議による） ③ 構造計算書製本 ④ 構造計算プログラム入力データ	3部（A1又はA2） 5部（A3） 1部（A4ファイル） 1式（CDROM） ※④は必要に応じて
7. その他	① 打合せ記録 ② 材料・工法等検討書 ③ 申請、届出及び許認可書 ④ 現場調査報告書 ⑤ その他調査・指示事項記録 ⑥ 申請関係データ（書類・図面等）	1式（A4） 1式（A4） 1式（A4） 1式（A4） 1式（A4） 1式（CDROM）

- 凡 例
- 建 物
 - 未とり未とりこわし建物
 - 危険建物
 - 借用建物
 - 一時使用建物
 - 他 当該学校以外の建物
 - 屋外教育環境整備事業によるもの
 - 未完成建物
 - 建物以外の工作物等
 - 門 正門・通用門
 - 温室
 - 吹 吹抜け渡廊下
 - 飼 飼育小屋
 - 簡 簡易な小規模構造物
 - 山 団障



施設の配置図	縮尺	0 5 10 20 30 40 50 m	1/1200	学校名	王子 小学校	調査年度	調査月	調査日	調査時間	調査者	600
						2:8	2:0	3:0	0:8	0:4	

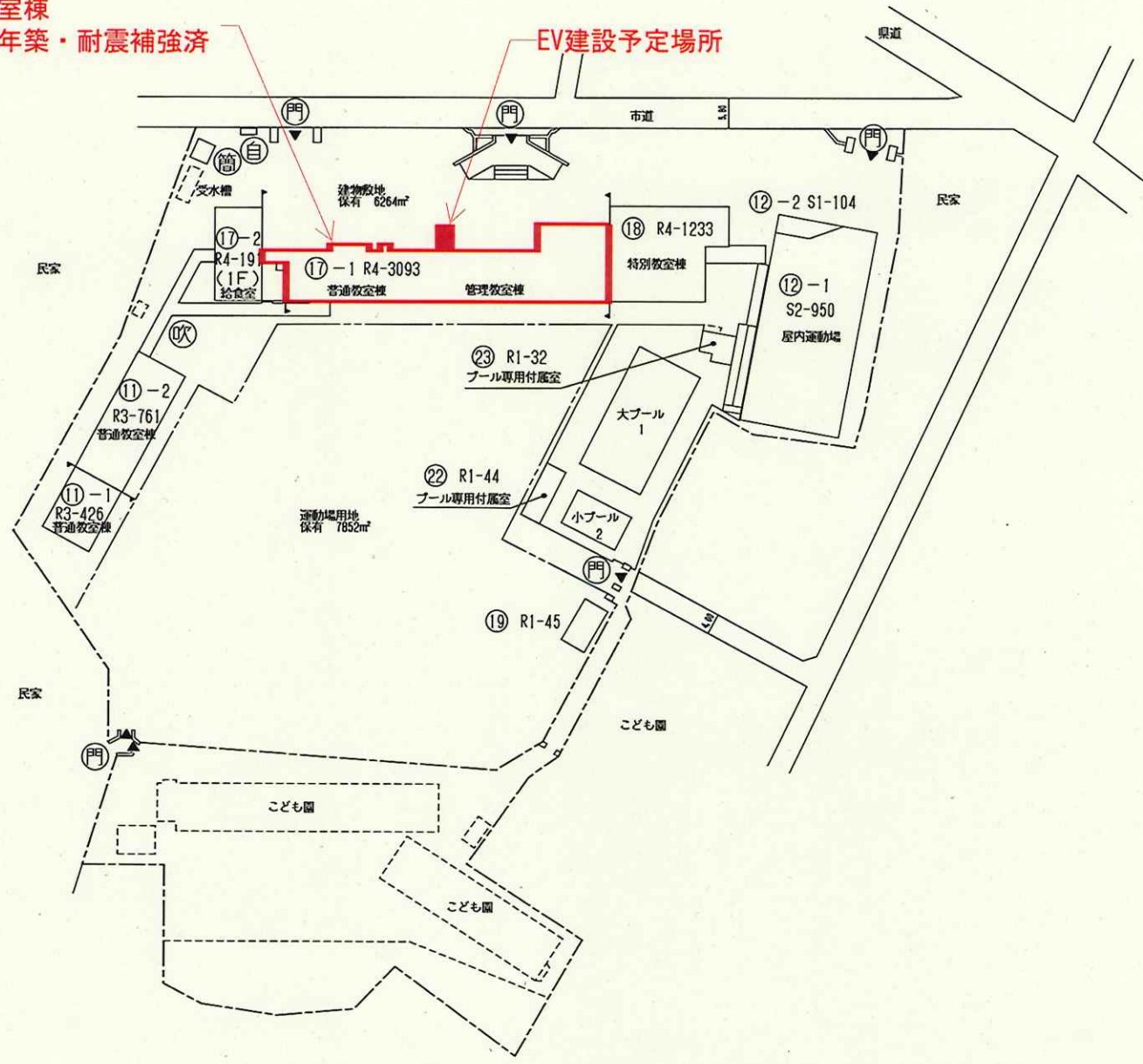
- 凡 例
- 建 物
 - 未とり未とりこわし建物
 - 危 危険建物
 - 借 借用建物
 - 時 一時使用建物
 - 他 当該学校以外の建物
 - 修 屋外教育環境整備事業によるもの
 - 未 未完成建物
 - 建物以外の工作物等
 - 門 正門・通用門
 - 温 温室
 - 吹 吹抜け渡廊下
 - 飼 飼育小屋
 - 簡 簡易な小規模構造物
 - 山 団障

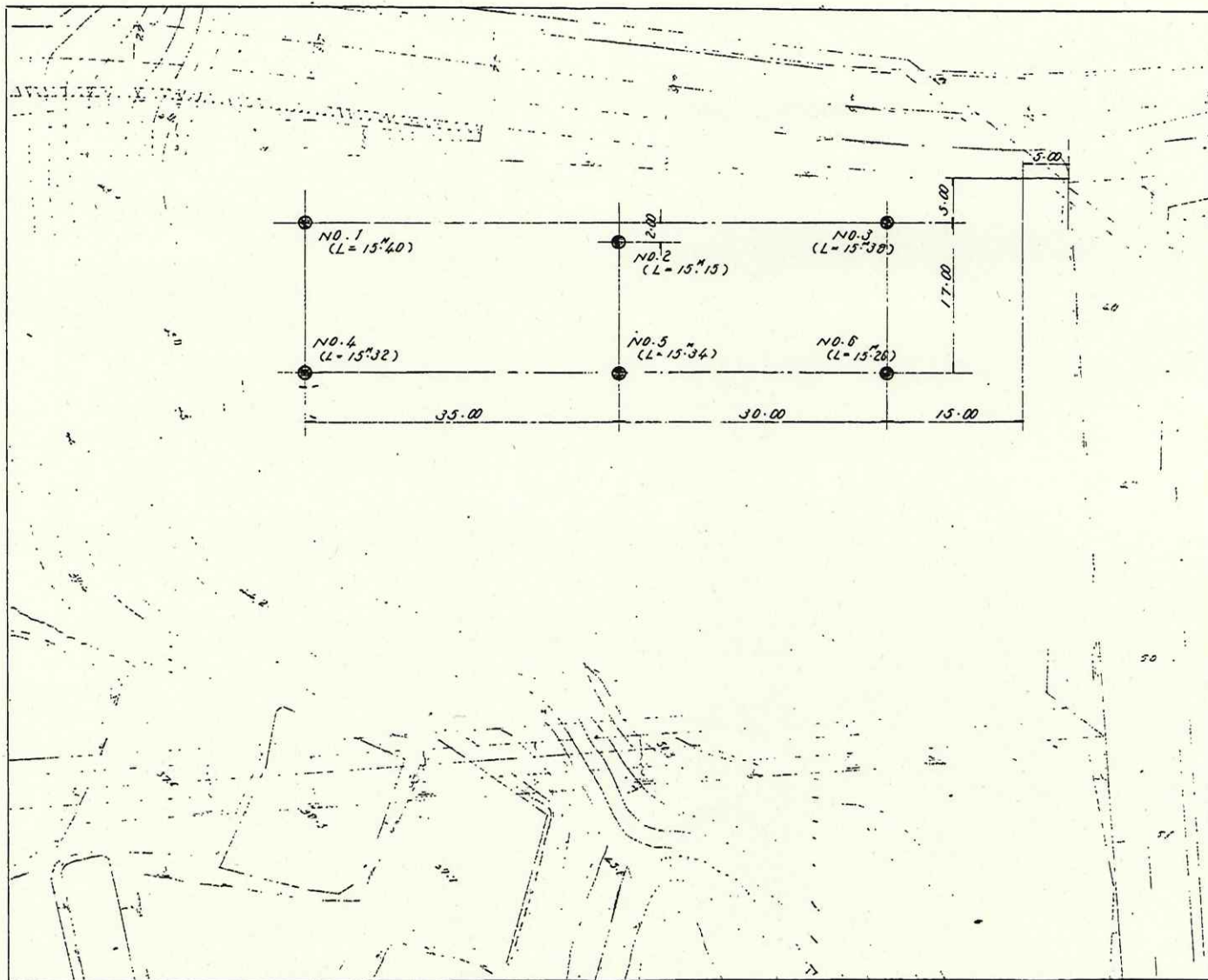


- 凡 例
- 建 物
- 未とり未とりこわし建物
 - 危 危険建物
 - 借 借用建物
 - 借 一時使用建物
 - 他 当該学校以外の建物
 - 修 屋外教育環境整備事業によるもの
 - 未 未完成建物
- 建物以外の工作物等
- 門 正門・通用門
 - 温 温室
 - 吹 吹抜け渡廊下
 - 飼 飼育小屋
 - 簡 簡易な小規模構造物
 - 山 囲障
 - 自 自転車置場

普通教室棟
昭和56年築・耐震補強済

EV建設予定場所





参考図

松が丘小学校既設校舎新築時
ボーリング調査位置図

調査位置図

縮尺 1:500 作成年月日

明舞団地内北部の明方市立小学校
敷地内調査

梶谷調査工事株式会社

調査名 明舞団地内北部の明石市立小学校敷地地質調査

調査地名(位置) 明石市明石舞子団地

調査年月日 昭和44年11月12日から11月14日まで

試錐孔 No. 3 調査書

梶谷調査工事株式会社関西支店

孔口標高	+46.81 m	調査深度	15.38 m
試錐方法	□-7リ-式	試錐孔径	65 mm
試料採取方法	標準貫入試験		

主任技術者	岡田一男
作業担当者	竹花七太郎
整理担当者	

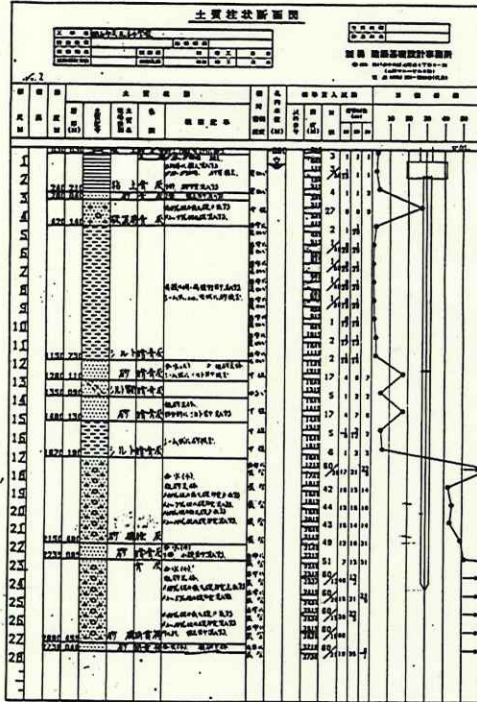
孔内水位	観測日時
m	日 時
m	日 時
m	日 時

標尺 (m)	層面標高 (m)	層面深度 (m)	地盤(岩相)状態				相対稠密度	乱番号・深さ (m)	標準貫入試験(JISA1219)											
			層厚 (m)	記号	名称	色			記号	試験深度 (m)	N値 (回/cm)	N折線								
												N値								
0																				
1					砂	黄褐	粗砂主体 3~5mm位の 小礫を混える		0.80 1.10	44 50	11 10	16 10	17 10							
2	44.51	2.30	2.30						1.85 2.10	50 55	16 10	22 10	12 10							
3					砂礫	黄褐	10~30mm位の 円石礫及び角礫 より成る。		2.90 3.03	50 13	36 10	16 5								
4	42.11	4.70	2.40						3.90 4.66	50 15	38 10	17 5								
5	41.41	5.40	0.70			砂	黄灰	よく締った中砂	5.05 5.22	50 17	25 10	25 7								
6									6.05 6.10	50 15	50 5									
7						砂礫	黄褐	200mm大の角 礫其在 風 化礫が主体	7.10 7.18	50 18	50 8									
8									8.10 8.16	50 16	50 6									
9	37.31	9.50	4.10						9.20 9.28	50 18	50 8									
10									10.10 10.40	46 30	10 10	16 10	20 10							
11						粘土混 砂	黄青灰	粘土分非常に 多い。所々黄 褐色の所あり 小さい雲母混 る。	11.25 11.55	50 130	15 10	15 10	20 10							
12	34.81	12.00	2.50				黄褐	粘土分がかなり 多く土母状	12.10 12.34	50 20	17 10	20 10	13 14							
13									13.20 13.45	50 28	15 10	20 10	15 5							
14	32.01	14.80	2.80						14.15 14.35	50 120	23 10	27 10								
15	31.43	15.38	0.58			粘土	青灰	粘着性強	15.20 15.38	50 18	25 10	25 8								
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				

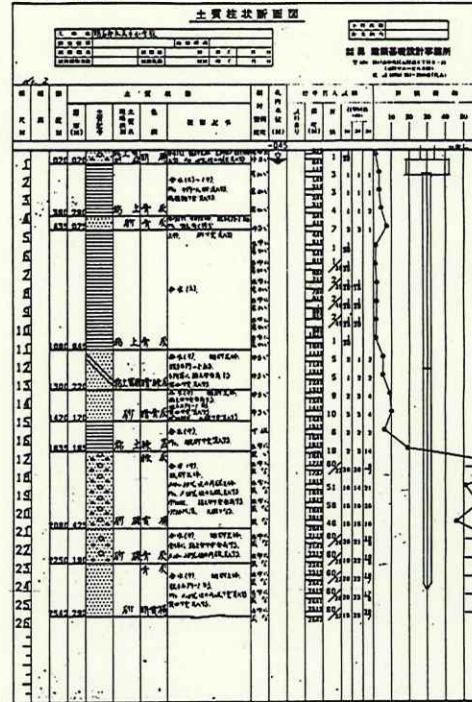
松が丘小学校既設校舎新築時
土質柱状断面図

参考図

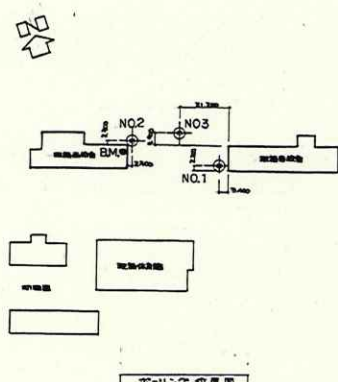
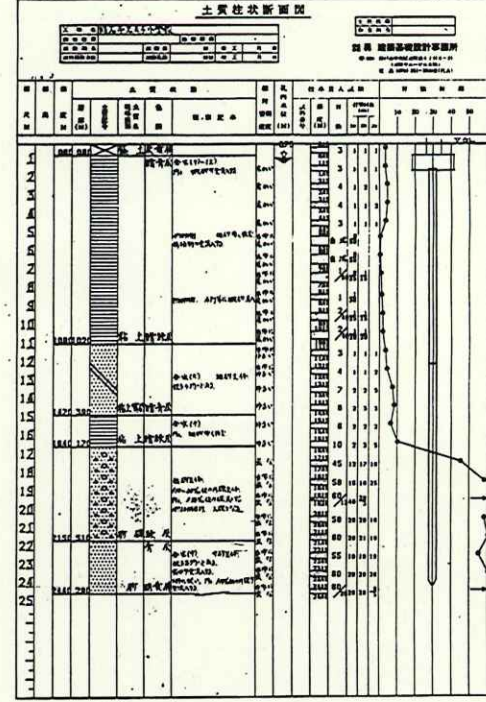
NO 1 BM-0.57



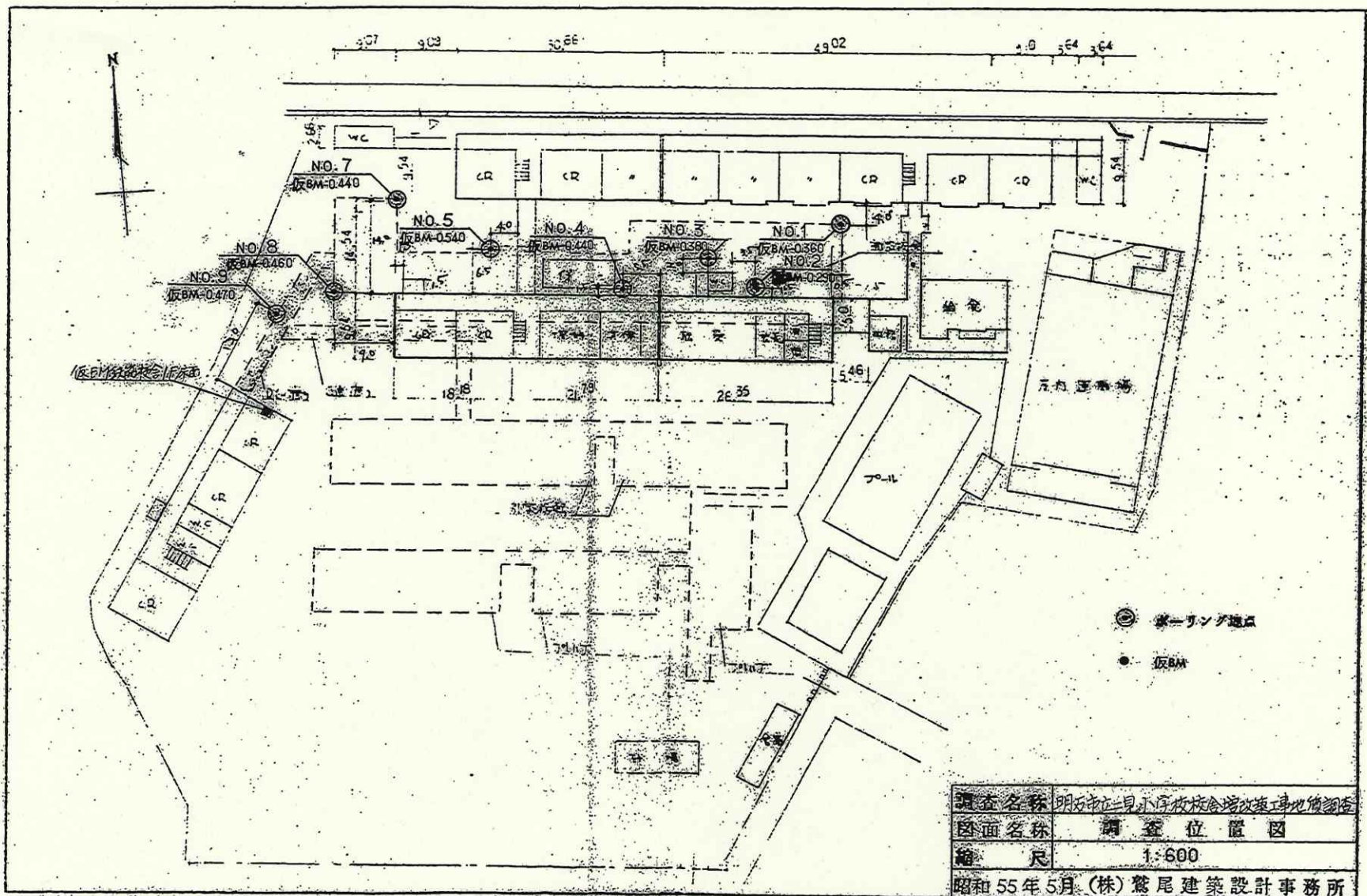
NO 2 BM-0.50



NO 3 BM-0.50



王子小学校既設校舎新築時
ボーリング調査位置図・土質柱状断面図



二見小学校既設校舎新築時
ホール調査位置図

図-1 参考図

No. 4 地点

土質柱状図

基準面高 仮BM - 0.440

地下水位 GL - 1.50

調査名 明石市立二見小学校校舎増改築工事
 場所 明石市二見町東二見 454
 期間 55年4月30日 ~ 55年5月2日
 調査員 野田 靖敬

